

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンクスラボ・アフタースクール佐賀		
○保護者評価実施期間	2024年12月11日		2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2024年12月11日		2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内のスペースや部屋が十分に確保されており、部屋ごとに活動を分けることができているため、子どもが安心して活動に取り組むことができている。	・他の情報(刺激)に左右されて自身の行動に混乱が生じることがないように、活動内容と活動場所を分けている。	・現状に甘んじることなく、個々の子どものアセスメントを行い、一人ひとりに合った環境を常に更新していけるように努めます。
2	・視覚的にわかりやすい環境を設定していることにより、子どもが見通しを持って自立した自発的な行動ができおり、混乱することなく成功体験をすることで自信を持った行動につながる事ができている。	・子ども一人ひとりにスケジュールを設定しており、「いつ」「どこで」「何をやる」などを具体的に提示しており、自身の行動が自立して行えていることを実感できるようにしている。	・個々のニーズに応じた環境設定を継続的に更新することはもちろん、個々の障害特性などを十分に把握し、自立を支援するための環境設定を推進します。
3	・保護者との情報共有ができおり、相談等があった際は時間を設けて対応できている。状況に応じて情報を整理したシート等を作成し、情報を提供しており、事業所で自立に至っていることは家庭への般化へつなげることができている。	・些細なことでも受け止めるようにしており、時間を設けて対応できることを発信している。また、療育の効果を実感できるようにわかりやすく情報を整理して伝達するようにしている。	・表に出ていない悩みもあると考えられるため、これまで以上に相談しやすい体制を整え、支援者が余裕を持ち、安心して相談できる関係性を一層強化していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域におけるイベント等での交流には参加しているが、子どもが主体的に交流をするような機会を設けることができていない。	・イメージ等が持てず不安になる子どもが多く、地域におけるイベント等に参加する形では環境設定が難しく、参加に制限が出てしまう形になっている。	・事業所主体でイベントなどを企画し、環境設定の予測可能性を高めるという観点から、事業所発信のイベント企画を検討します。
2	・保護者会など、事業所内の保護者同士が交流を図れるような機会を設けることができていない。	・個々で感じていることが違うことから個別に相談に応じており、それにとどまっている。ただ、事業所の主観であり、ニーズまでは確認できていない。	・保護者会などでニーズを把握し、それに基づいた対応ができるようアンケートなどを実施し、必要に応じて企画・実施します。
3	・担当者会議など関係機関との情報共有の機会が少なく、事業所で気になったことによる会議の開催程度にとどまっている。	・事業所内で気になったこと以外は受け身になってしまっており、発信が弱くなっている。	・関係機関との情報共有など連携を促進するため、自主的かつ定期的に情報を発信します。まずは、関係のある相談支援事業所との定期的な情報共有から進めます。